

2018年 2月 21日

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院小児脳神経外科に、脊髄髄膜瘤で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院小児脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

脊髄髄膜瘤の治療と予後に関する後方視的検討（後ろ向き観察研究）

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院小児脳神経外科 部長 原田 敦子

3. 研究の目的

本研究は大阪府下における、脊髄髄膜瘤患児の出生歴、身体所見や検査所見（画像を含む）、治療方法、臨床経過、予後（生命予後、機能的予後）における様々な項目について後方視的に検討を行いその実態を明らかにすることが目的です。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

1990年～2016年4月の期間中、出生前及び出生時に脊髄髄膜瘤と診断された患者さんのうち、社会医療法人愛仁会高槻病院小児脳神経外科で治療または外来通院歴がある患者さん

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、病歴、治療歴、MRI・CT画像、下肢の機能、就学・就職状況に関する情報等です。

(3) 方法

本研究は、当院のほか以下の共同研究機関と共に実施致します。データセンターは本研究の代表機関である大阪大学医学部医学研究科 脳神経外科に設置致します。

○代表研究機関／研究代表者・責任者

・大阪大学大学院医学研究科 脳神経外科 講師 香川 尚己

○共同研究機関／研究責任者

・大阪母子医療センター 脳神経外科 主任部長 竹本 理

・関西医科大学 小児脳神経外科 診療教授 埜中 正博

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被るこ

とは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院小児脳神経外科 担当医師 原田 敦子

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : tiikiiryoud@ajk.takatsuki-hp.or.jp